

学生短期海外研修のお知らせ



本学には、学生短期海外研修という制度があり、「海外で勉強したいという学生の希望」の支援・実現を目的に大学が学費・渡航費・滞在費などを全額もしくは一部を援助しています(2016年度の援助限度額は30万円です)。

この制度は、学生自身が研修先を見つけ、研修計画書と必要書類を揃えて申請して、書類審査通過後、面接選考を経て採用の可否を決定します。

2016年度の申請は既に終わっておりますが、2017年度の申請期限は、2017年5月初旬頃を予定しています。

2017年度の募集要項は2017年1月頃にお知らせする予定です。

毎年度、申請期限直前に学生から相談を受けることがあります。海外の研修先を見つけ、自分で受け入れの交渉などを行うことは日数がかかるものです。早めに国際交流センターに相談することが、申請の第一歩になります。

2016年度は1名採用(アメリカ・ネバダ州 ネバダ大学)されました。その他、国際交流センターでは、全学科対象に以下の海外研修プログラムを来年度に向けて準備を進めています。

- 海外語学研修(英語)(カナダ・バンクーバー、フィリピン・セブ島)
- 海外語学研修(韓国語)(韓国・大田大学校)
- 海外医療英語研修(フィリピン・セブ島)

また、学内進学者の大学院生を対象に「海外留学支援事業」も準備を進めています。

上記の研修企画は2016年度のものです。

2017年度は変更・中止・新規企画追加が発生する場合があります。

キャリアセンターからの お知らせ

①TOEIC IPテストと資格取得奨励金のお知らせ

今年度もTOEIC IPテストを実施します。第1回は6月25日(土)に行い、3キャンパス合計68名が受験しました。

TOEIC IPテストで550点以上のスコアで、資格取得奨励金制度を利用し奨励された方もいます。

第2回は10月29日(土)、第3回は12月10日(土)です。受験日までまだ時間があるので、是非この機会を利用して受験しませんか?また、受験料は外部で受験する受験料より安価です!!

資格取得奨励金制度対象資格はTOEIC IPテストではありません。

②公務員講座のご案内

エクステンション講座では、公務員を目指す人のサポートをするために公務員講座(数的推理、判断推理)の開講を予定しています。学外で公務員試験の講座を受講した場合、格安プランでも9万円程度はかかりますが、本学で受講しますと3万2千400円で受講できます。

3年次生はもちろん!将来公務員合格を目指す!公務員試験の勉強方法を学びたい!と考えている1、2年次生も早期から公務員講座を受講しませんか?

アクセシビリティリーダーの 育成について

『アクセシビリティ』ってなに?

障害の有無や身体特性、年齢や言語・文化などの違いに関係なく『情報』『サービス』『製品』『環境』など様々なものへの「利用しやすさ」や「参加しやすさ」を意味する概念であり、「アクセスのしやすさ」のことを「アクセシビリティ」と言います。

現在、社会の多様化が進む中、「アクセシビリティ」の普及・推進は、潜在する多様なニーズ、才能、人材の開拓にもつながることから、多くの人々が「利用しやすいか?」「参加しやすいか?」「使いやすいか?」など、これからの時代において様々な局面で重要な概念となりつつあります。

『アクセシビリティリーダー』ってなに?

多様な人々の社会参加を円滑にして可能性を活かし、多様な環境やニーズの特性を良く理解し、分野を超えた柔軟な知識と発想で、社会のアクセシビリティをリードする人材のことをアクセシビリティリーダーといいます。

『アクセシビリティリーダー育成プログラム』とは?

『アクセシビリティリーダー育成プログラム』とは「教育課程」「資格認定」「インターンシップ」「キャンプ」で構成される、総合的な人材育成・活用プログラムです。教育課程は、高等教育機関が開発し提供する質の高い教育プログラムです。

アクセシビリティに関連する「基礎概念」「多様性理解」「情報・環境・

制度」を体系的に学び、意識・知識・経験に立脚した、アクセシビリティ・コーディネートの技術・方法論を修得していきます。資格取得後は更なる実践の場として、企業でのインターンシップと大学を越えてリーダーが共に学ぶリーダーシップが用意されています。

まずは、アクセシビリティリーダー2級の資格取得を目指そう!

アクセシビリティリーダー2級の資格取得には、オンライン講座・①導入編『意識』、②基礎編『知識』の教育課程を修了し、年1回(12月)実施される認定試験を受験し、合格点に達すると資格取得となります。

アクセシビリティリーダー2級の資格取得後は?

『アクセシビリティリーダー育成プログラム』に従い、アクセシビリティリーダー1級の資格取得を目指し、アクセシビリティリーダーシップやアクセシビリティインターンシップなどに参加し、情報やサービス、製品や環境の利便性を誰もが享受できる豊かな社会を創出するコーディネート能力を持った『アクセシビリティリーダー』を目指しましょう。

また、この資格は「日本マイクロソフト株式会社」「富士通株式会社」といった企業や「広島大学」「九州大学」「関西学院大学」などの大学でも取り入れられています。今からでも遅くないので、ぜひ、12月の試験に向けて学んでみましょう!

申し込み先

[東広島キャンパス]	学生課(2号館2階)
[呉キャンパス]	呉学生課(1号館1階)
[広島キャンパス]	医療経営学部事務室(1階)

2020年度 学びの場を集約します

本学は、健康・医療・福祉分野の異なる専門職を目指す学生が協働して学修する専門職連携教育(IPE)を行っています。この連携教育をさらに充実させるため、また各キャンパスに所属している学生が学修や課外活動等を行う上で、さらにつながりもてるように、2020年4月より、医療経営学部の学びの場を広島キャンパスから東広島キャンパスへ移し、学びの場を東広島と呉の2

キャンパスへ集約します。

また、今後は専門職連携教育(IPE)に加え、地域、行政、病院、福祉施設、企業、高校などの関係機関と連携し、地域の実情に応じた専門職の役割を実践的に学ぶ教育を展開します。

特に、これからの社会に求められる「地域包括ケア」を担う人材の育成を目指し、大学内だけでなく、地域もキャンパスと捉え、地域が抱える課題をテーマとした連携教育やフィールドワークなどを行うことで、医療・福祉の現場に必要な実践力を養います。

さらに、他学科・他専攻間の学生や地域の方々との交流を促進し、地域が抱える課題に対応する取り組みの充実を図っていきます。